

日置谷地区 地域づくり懇談会 開催概要

- 1 日時 令和元年7月26日（金）19：00～20：10
- 2 場所 日置谷地区公民館
- 3 出席者 地区出席者 14名
市出席者 3名（深澤市長、安本市民生活部長、山本青谷町総合支所長）



4 テーマ 日置谷地区の景観美化及び憩いの場創出について

5 概要

（地元あいさつ）

一昨年、日置谷地区公民館が新築されたことを機に、今まで雑草が繁茂していた公民館周辺の環境を整備し、憩いの場としたいという思いでこのテーマにした。鳥取市の方々と地域住民が一緒になって考えていきたいと思っている。

（市長あいさつ）

昨年の台風 24 号では、当地区で大変な浸水被害が発生しており、改めて被災された皆さんにお見舞いを申し上げたい。治水対策について事業をしっかりと進めていただくよう国土交通省と話をし、ちょうど今日帰ってきたところである。市としても防災、減災に引き続き取り組んでいかなければならないと思っている。

本日は景観美化と憩いの場の創出がテーマと聞いている。忌憚のないご意見をいただきたい。

日置谷地区の取組の説明

<テーマの背景>

当地区は景観美化活動に力を入れており、日置谷“幸せの里”づくり協議会を中心に地域内の景観維持に取り組んできた。平成30年に地区公民館が新築移転し、周辺環境の美化の意識が高まっているほか、地域住民から公園や広場がなく憩いの場が欲しいとの声もある。そこで、地域活動の拠点である公民館の周辺を整備し、地域の人が気軽に立ち寄れる場を創っていきたいと考えている。あわせて公民館西側の寒桜の大木も、地区の名勝地として整備したいと考えている。

<地域の取組>

地域の美化活動として、日置谷“幸せの里”づくり協議会の景観づくり・環境対策部を中心に「あじさいロード」(約15年前に県道俵原青谷線の斜面に約1kmにわたって整備)の、草刈り(年3回)や肥料撒きなどを行い、地区の景観づくりに取り組んでいる。

また、令和元年度から3か年の計画で、鳥取市岩倉地区と里山交流を行うこととしている。既に白ネギ苗の定植作業体験事業を実施し、秋以降に収穫体験及び食事会等で交流を深める予定だが、交流を実施するうえでも、地区公民館周辺の景観美化は必須であると考えている。

【今後の具体的な景観美化予定】

- 地区公民館の横にあるプールのフェンスを利用してバラを植える。
- プールと公民館の間のスペースに新しく花壇を整備し、季節の花を植える。整備後はまちづくり協議会による管理を考えている。
- 地区公民館の東側と西側を芝生化する。グラウンドゴルフができるように整備し、老人クラブで芝生の管理を行いたい。
- 公民館の西側にある桜を、専門家に見てもらったところ品種は「寒桜」だった。老木となり樹勢が衰退しているので、「寒桜の会」のようなものを立ち上げ、地域でこの桜を守り観光名所としたい。

(地元)

あじさいロードについて経過を補足したい。あじさいロードは当時の鳥取県による全県公園化構想の一環として地区で始めた取り組みで、小学生が教室から道路ののり面を眺めたときにあじさいの花を見ればやすらぎを感じるのではないかという意見からスタートした。また、当時の環境美化活動としてそれ以外にも、日置川堤防の竹の伐採にも取り組んだ。

(地元)

芝生化について、取り組み開始の初年度は市から40万円の助成金があるが、2年目以降は支援がない。40万円を使って芝生を植えることはできるが、その後の維持管理が難しいのではないかと考えている。参考になることがあれば教えていただきたい。

(市長)

芝生を植えた後の維持管理について何とかならないかという話は市内のいろいろな地区から聞いている。手作りで散水装置を作られたりしている地域もあるが、市全体で方法を考える必要があるかもしれない。公園・スポーツ施設協会といった外郭団体に協力をいただくなどの方法もあると思っている。

(市民生活部長)

芝生化の事業後の維持管理については、制度がないというのが実情である。労力は別にして、維持管理に係る経費としてはまちづくり協議会に対する補助金を活用していただけたらと考えている。

(地元)

1年目、2年目は管理できていても、5、6年たってできなくなったというような事例はあるか。初めはみんな一生懸命やると思うが、管理ができなくなって人も来なくなり、枯れた状態や伸び放題になったというようなところはないだろうか。

(市長)

伸び放題になったり、枯れて全滅したりということはあまり聞いていない。良い事例でいうと、国英地区では公民館のグラウンドが夏は暑く、土埃が舞うということで芝生化に取り組まれた。手作りで散水装置を作られるなど、非常に管理がされており、青々とした芝生となっている。

(市民生活部長)

この芝生化の事業では聞いたことはないが、別の地域で、芝生化に取り組んだものの、芝生が雑草に負けて少なくなってしまい、芝生と雑草の比率がだんだんと逆転してしまっているのは見たことがある。芝生化するということはそこを活用することなので、使われる団体にも維持管理の協力をいただくように取り組んでいるという話は聞いたことがある。

(地元)

老人クラブなどグラウンドゴルフをされる団体にこれから話を持って行き、維持管理についてお願いできないかと考えている。

(市長)

我々も研究してみなければいけないと思っている。数年ならみんなでやるということは可能だが、年月が経つと大変になる。そこは課題だと我々も認識しており、検討してみたい。

(都市環境課補足)

平成 23 年から補助金を活用し芝生化した 14 地区のうち、後年の維持管理費用にまちづ

くり協議会の補助金を活用している地区は9地区あります。

鳥取市協働による芝生化取り組み方針により、協働による芝生化及び維持管理に対し、対象となる施設や地域の実情に合わせた総合的なアドバイスを都市環境課で行っています。

地域で芝生化を検討されるにあたり、一度ご相談いただければと思います。

(地元)

地区公民館横のプールのフェンスに地域のグループがバラを植えている。少しずつ美化活動を実施しているが、最終的にプールの撤去が必要と感じている。解体時期の見込みがあれば教えていただきたい。

(市長)

現在のところ、具体的にはまだ計画していない。市内には他にもプールが残っているところがあり、一挙に解体を進めていくのが難しい状況にある。まずは安全管理をしていくことが必要だと思っている。先ほど現地を見たが、跡地全体の有効活用を考えていく中で検討したい。地元の皆さんのアイデアがあればお聞かせいただきたい。

(地元)

前向きなアイデアがあれば優先されるということか。

(市長)

優先というわけではないが、具体的な希望があればしっかり受け止めさせていただきたい。

(地元)

地区公民館西側の桜についてだが、公益財団法人日本花の会の方に調べてもらった結果、寒桜と分かった。昔の新聞に載っていた情報から推測すると、樹齢約88年と思われ、寒桜で100年近い古木は全国的にも貴重な存在ということだった。現状、やや樹勢が衰退しているが、地域としてはこの桜を守り日置谷の名所にしたいと思っている。寒桜を守る会を立ち上げ、古木を守りつつ、次世代の桜を育てて一帯を公園化したいと考えている。現在、隣の土地を鳥取県が売却地としているが、境界からわずか60cmのところに生えており、地区としては桜を守るためにも県の売却を取り下げしてほしいと思っている。

(地元)

鳥取県の土地を鳥取市が買い取ることはできないのか。

(市長)

できないことはないが、現状鳥取市も土地をたくさん所有しており、有効活用するよう包括外部監査^{*}でも指摘されている。施設を整備するなど明確な理由がある場合は取得することもあり得るが、積極的に土地を取得していく時代ではなくなっている。

もう一つの選択肢として、鳥取県が売却されるまでの間、地元の皆さんに管理をしていただくことを条件に無償で使用させていただくことは可能ではないかと思う。

※包括外部監査…中核市に実施が義務付けられている、市が契約した包括外部監査人により、特定のテーマを決めて実施する監査。鳥取市では、平成30年度に「未利用不動産に関する財務事務の執行について」の監査を実施した。

（青谷町総合支所長）

この話は事前に伺っていたので、すでに鳥取県に相談している。地元での維持管理を条件に無料で貸し付けしてもらうことが可能かどうか、内部で検討してもらっている。

（地元）

公民館で年3回ほど草刈りをしているので、そのついでに地域で草刈り等をすることはできると思う。無償で借りられればありがたい。

（青谷町総合支所長）

あくまでも鳥取県としては売却が第一であるので、それまでの期間ということになる。

（地元）

県の担当課長と話す機会があり、無償貸与できると聞いている。5年間無償貸与で、その後は期間を延長していけるのではないか。

（市長）

無償貸与ということになると県議会の承認が必要になるだろうか。鳥取県にとっても地元の皆さんが維持管理に協力いただけるということであればありがたいのではないかと思う。また、ベンチなどの簡易な設置物が可能かどうか県の方で柔軟に考えていただけたらと思う。

（地元）

山陰道の高架下を流れる勝部川の西側土手にも同じ桜がある。地区公民館横の寒桜を取り木して植えたもので、樹齢は約60年と推定される。生育条件がいいのか幹回りも樹高も大きい。ただ、周囲が竹やぶになってしまっており、先日鳥取県の職員の方に会う機会があったので相談している。こちらを整備をして大事にしてほしい。

（司会）

支所に今後相談に行くかもしれないので、よろしく願いしたい。

（地元）

旧地区公民館について、解体されると聞いているが、その後はどのように活用されるのか。

(市長)

まずは地元の皆さんの考えを尊重したい。いろんなアイデアを出していただけたらと思う。鳥取市として新たな施設を作る計画はなく、特にご意見がなければ更地にする予定である。

(地元)

ここの敷地で消防団の操法の訓練をしている。道具を旧地区公民館に置いているが、解体後は新しく倉庫を建てないといけないのではと思っている。日置谷地区には消防団の第2分団があるが、車庫が古くなってきている。中郷地区には新しい車庫ができると聞いており、ここに消防車庫兼倉庫として作っていただけるとありがたい。

(市長)

格納庫については、2025年をめどに検討する時期に来ている。現在市内の格納庫を順次新しくしており、その時に旧公民館跡地で検討を進めていくことはできると思う。

(地元)

旧地区公民館が解体されると街灯がないため夜に辺りが暗くなると思う。街灯を設置していただきたい。

(地元)

地区要望として出すか地域で検討したい。

(市長あいさつ)

本日は景観美化、憩いの場創出など、地域づくりの課題にふさわしいお話をいただいた。跡地の利活用については、地域の皆さんで話し合ってください、ご意見があれば総合支所に届けていただきたい。今年第30回全国「みどりの愛護」のつどいも成功に終わった。鳥取市も緑豊かな潤いのあるまちづくりをこれから進めていきたいと思っている。